

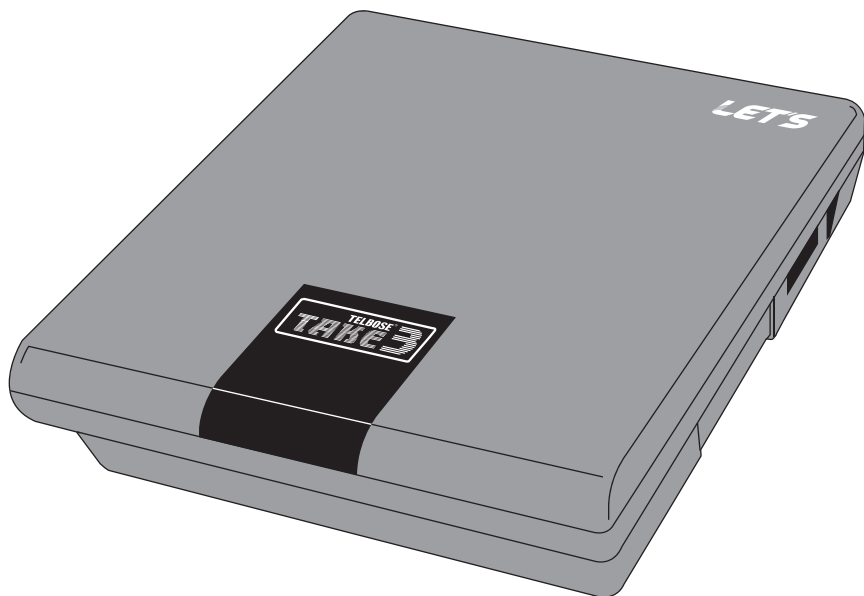
**NEW**

回線切替装置

**TELBOSE®**

**TAKES**

## 取扱説明書



**LET'S** 今、求められるニーズを  
corporation  
株式会社 **レッツ** コーポレーション

Ver 1.10  
(070226)

# はじめに

この度は、TELBOSE new TAKE3（以降、テイク3と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

テイク3は1本の電話回線に電話機、FAX、モデム等を接続し、自動切替できる装置です。この説明書を良くお読みいただき、テイク3の機能が十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管して下さい。

## ご使用上の注意

- 本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音等の機会を逸したために生じた損害などの纯粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。

# 目 次

## 1. テイク3を使用するための準備

- 1. 1 必ずお読み下さい ..... 1
- 1. 2 回線接続の前に ..... 5
- 1. 3 商品構成 ..... 6
- 1. 4 外観及び名称と説明
  - 背面図、上面図 ..... 7
  - 右側面図、名称（説明） ..... 8
- 1. 5 接続
  - 回線との接続 ..... 9
  - 電話機との接続 ..... 9
  - FAX、モデムとの接続 ..... 10
  - ACアダプタとの接続 ..... 10
  - ナンバーディスプレイ対応電話機の接続 ..... 11
- 1. 6 その他 ..... 12
- 1. 7 接続での注意 ..... 13
- 1. 8 停電の場合 ..... 13

## 2. 各モードの設定

- 2. 1 自動ベルモード ..... 14
- 2. 2 リモートモード ..... 15
- 2. 3 FAXモード ..... 16

## 3. 操作方法

- 3. 1 基本操作
  - 1 電話、FAX、モデムから発信したい時 ..... 17
  - 2 掛かってきた電話をうける時 ..... 17
  - 3 FAXが送られてきた時 ..... 17
  - 4 電話をうけFAXから着信の時、通話中にFAXへ切替えたい時 ..... 17
  - 5 電話をうけモデムから着信の時、通話中にモデムへ切替えたい時 ..... 18
- 3. 2 特殊操作
  - 1 受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます（オフフック転送） ..... 19
  - 2 電話が掛かってきて留守などで出られない時 ..... 19
  - 3 発信側より直接テイク3のモデム端子を呼出す事ができます ..... 20
- 3. 3 操作での注意 ..... 20

## 4. メインディップスイッチ機能一覧 ..... 21

## 5. 故障と考えられる時 ..... 22

## 6. 設置手順と注意事項 ..... 23

## 7. 仕様一覧 ..... 25

# 1. テイク3を使用するための準備

## 1. 1 必ずお読みください

この取扱説明書は、電話回線自動切替装置「テイク3」の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

### ●安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## 絵表示の例



- 記号は禁止の行為であることを示しています。  
図の中に具体的な禁止内容(左図は湿度の高い場所への設置禁止)を示しています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。  
図の中に具体的な禁止内容(左図は火気のそばへの設置禁止)を示しています。



- 記号は禁止の行為であることを示しています。  
図の中に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



- 記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。  
図の中に具体的な指示内容(左図はACアダプタをコンセントから抜け)を示しています。

## 注意事項

### ■設置場所について

#### 警告

- 湿度の高い場所への設置禁止  
ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



#### 注意

- 火気のそばへの設置禁止  
本機や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 湿度の高い場所への設置禁止  
直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止  
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 不安定な場所への設置禁止  
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。  
また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



#### 注意

- 通風孔をふさぐことの禁止  
本機(カバー)の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - ・あお向けや逆さまにする
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける
  - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む



### お願い

- 本機を正常にまた安全に使用していただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

## ■使用について

### (1) もしもこんなときは

## 警告

#### ● 発煙への対処

万一、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のACアダプタを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店が当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



#### ● 水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本機のACアダプタを抜いて、ご購入店が当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

#### ● 異物が装置内部に入った場合の対処

本機(カバー)の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機のACアダプタを抜いてご購入店が当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

#### ● 電源コードが痛んだ場合の対処

電源コードが痛んだ状態(芯線の露出・断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機のACアダプタを抜いてご購入店が当社サービス取扱所に修理をご依頼ください。

### (2) 電源について

## 警告

#### ● 商用電源以外の禁止

AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



#### ● ACアダプタ

専用のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



#### ● 電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



#### ● めれた手での操作の禁止

めれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



#### ● たこあし配線の禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



## 注意

### ● アダプタの取扱注意

A Cアダプタを抜くときは、必ずA Cアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

### ● 乗ることの禁止

本機に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかたりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。



### (3) 禁止事項について

## 警告

### ● 改造の禁止

本機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

### ● ぬらすこと of 禁止

本機に水が入ったり、ぬらすぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

### ● 異物を入れないための注意

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電・故障などの原因となります。



### (4) その他のご注意

## 注意

### ● 雷のときの注意

雷が激しいときは、A Cアダプタとモジュラーコードを抜いてください。万一落雷があった場合、火災・感電・故障などの原因となることがあります。雷が発生した際は、感電のおそれがあるので電源ケーブルなどに触れないようにしてください。

### ● A Cアダプタの清掃

A Cアダプタとコンセントの間のほこりは定期的(半年に1回程度)に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

### ● 長期不在のときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずA Cアダプタをコンセントから抜いてください。



### ■ 日頃のお手入れ

汚れたら、A Cアダプタを抜いてから乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと乾いた布でふきとってください。化学雑巾の使用は避けてください。

## 1. 2 回線接続の前に

- テイク 3 は（財）電気通信端末審査協会の認定品です。
- 2 線式の電話回線に使用することができます。4 線式等の電話回線には接続できません。
- P B X、ボタン電話の内線に接続する場合、電氣的仕様が N T T と同じかどうか確認してください。仕様が N T T と異なりますと機能が正常に働かないことがあります。
- 仮着信方式を使用しておりますので、自動ベルモードでお使いの場合、先方は呼出し中も課金されます。
- キャッチホンは接続できません。
- ピンク電話（硬貨収納信号送出サービス加入）回線にテイク 3 の接続はできません。（販売店にお問い合わせください。）
- ナンバーディスプレイサービス回線にも接続できますが、ナンバーディスプレイ対応電話機が必要になります。  
また、接続されるナンバーディスプレイ電話機によってはテイク 3、電話機などが正常に動作しない場合があります。なお、仕様上 F A X 受信の際も、電話機が数回鳴動することがあります。
- 接続される電話回線または T A によっては、正常に動作しない場合があります。
- 留守番電話機は接続できますが、機種によっては正常に動作しない場合があります。
- F ネット 1 3 0 0 H z 無鳴動サービスには使えません。



### 1. 3 商品構成

セットを確認してください。

ご使用いただく前に、次のものが全部そろっているか確認してください。

万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または、弊社までご連絡ください。

#### 株式会社 **レッツ** コーポレーション

本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2 丁目 18-20  
坂長ビル 4F

TEL (052) 201-6230

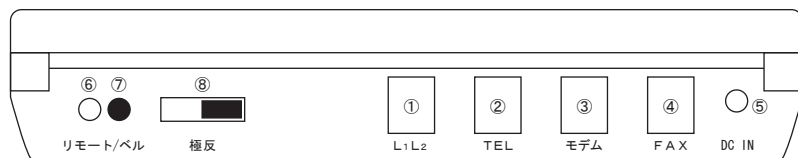
FAX (052) 201-5050

メール support@lets-co.co.jp

1	テイク3 本体	1台
2	ACアダプタ (DC15V、400mA、センターマイナス)	1個 (コードの長さ：1.8m)
3	モジュラーコード (先端、終端ともにモジュラー)	2本 (コードの長さ：2.0m) (ストレート、クロス各1本)
4	取扱説明書	1冊
5	保証書 (取扱説明書内)	

## 1. 4 外観及び名称と説明

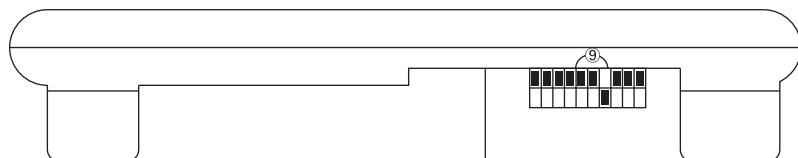
### 1. 背面図



### 2. 上面図



### 3. 右側側面



### 4. 名称(説明)

	名 称	は た ら き
①	回線接続用モジュラー端子	回線とテイク3を接続するコネクタです。
②	電話機接続用モジュラー端子	電話機、留守番電話機を接続するコネクタです。
③	モデム接続用モジュラー端子	モデムを接続するコネクタです。
④	FAX接続用モジュラー端子	FAXを接続するコネクタです。
⑤	電源アダプタ接続用ジャック	付属のACアダプタを接続してください。
⑥	リモートランプ	リモートモード設定時に点灯(緑)します。
⑦	自動ベルモード	自動ベルモード設定時に点灯(赤)します。
⑧	極性反転スライドスイッチ	回線側の極性を入れかえます。
⑨	10連ディップスイッチ	各種設定を行うスイッチです。

参 考……図は出荷時の設定です。

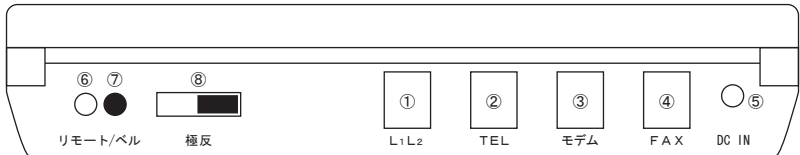
## 注意

ディップスイッチのカバーを開けるときは、 $\ominus$ ドライバーなどを使用してください。ケガの原因となることがあります。

## 1. 5 接続

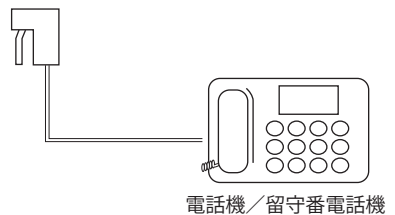
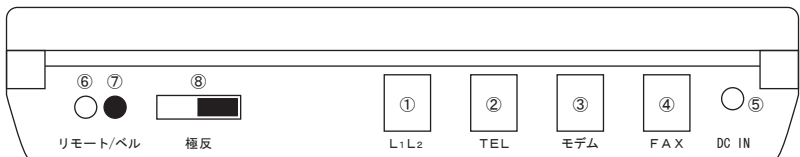
### 1. 回線との接続

付属のコード等で①に接続します。



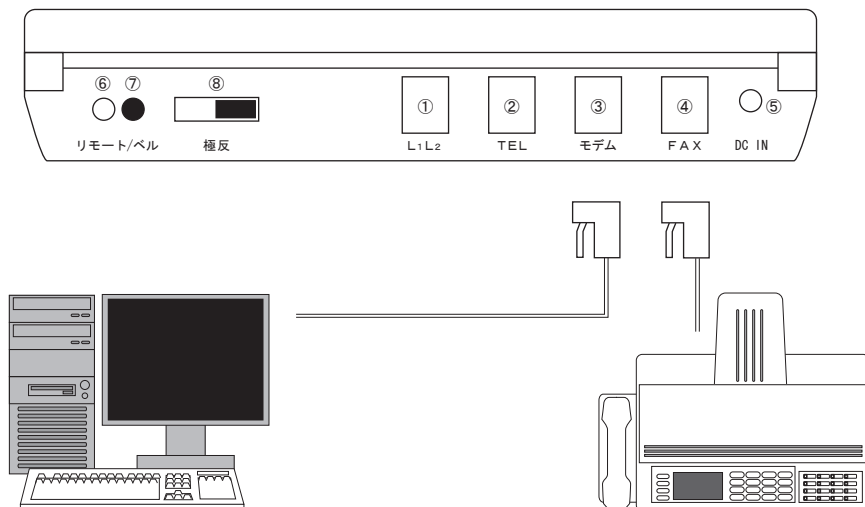
### 2. 電話機との接続

付属のコード等で②に接続します。



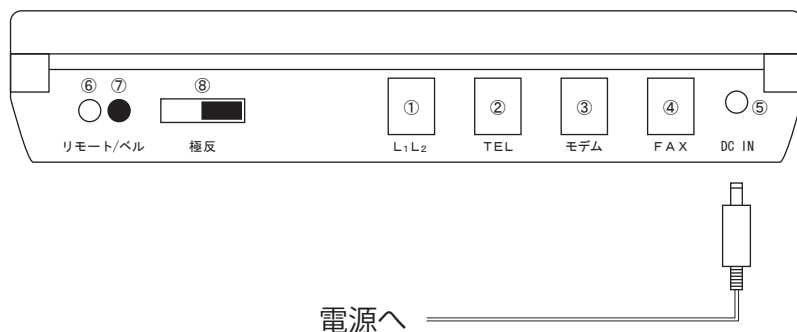
### 3. FAX、モデムとの接続

FAXは付属のコード等で④に接続します。  
モデムは付属のコード等で③に接続します。



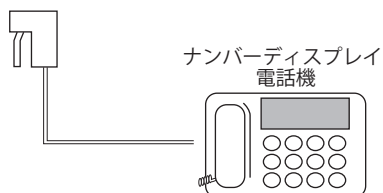
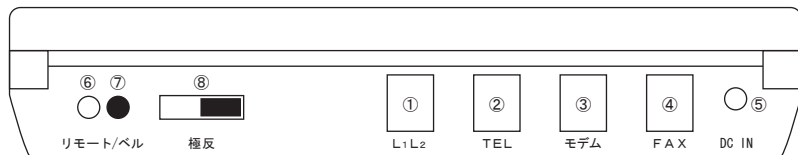
### 4. ACアダプタとの接続

付属のACアダプタを使用し、⑤に差し込んで下さい。  
電源はAC100V、50 / 60Hz以外では使用しないで下さい。



## 5. ナンバーディスプレイ対応電話機の接続

付属のコード等で②に接続します。



### 注 意

- ① テイク3のディップスイッチ2を有り(下)にして、ナンバーディスプレイを有効にしてください。(P.21を参照)
  - ② モードはリモート/自動ベルどちらでも使用できますが、接続される電話機によっては、正常に動作しない場合があります。
- ※ ②について、極反スイッチを左右に切替え、電源をOFF/ONすると正常に動作する場合もあります。

### 動 作

- ① 着信があるとテイク3が仮着信する前にナンバーディスプレイ電話機が鳴動し、その後、テイク3がリモート/自動ベルモードの動作をします。  
(FAX着信時、ナンバーディスプレイ電話機が2~3回鳴動しますが故障ではありません。)
- ② ①以降の機能は通常のリモート/自動ベルモードと同じです。
- ③ 本機能を使用時には、自動モード切替を無し(ディップスイッチ8を無し(上))で使用して下さい。発信・着信ができなくなる場合があります。

## 1. 6 その他

### 極性反転スライドスイッチ（背面スライドスイッチ⑧）

回線側（L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>）の極性を入れ替えることができます。

設定時にテイク3の回線側の極性を入れ替えたい（L<sub>1</sub>、L<sub>2</sub>を反対にする）時、使用します。

### 瞬断検知スイッチ（側面ディップスイッチ⑨）

テイク3の着信時に発信側の切断を検知する場合、通常はビジートーンを検知しますが、CPC信号（瞬断信号）もあわせて検知する場合に有り（上）にします。

※ノイズ等が多い場合は使用しないで下さい。ノイズをCPC信号と認識し、切断する場合があります。

## 1. 7 接続での注意

### 1. テイク 3 に関する注意事項

- ・テイク 3 は極性に指定はありませんが、接続する電話機／FAX／モデムは極性の指定がある機種があります。
- ・「外部ベル」をご使用のお客様はTEL端子に並列接続して下さい。
- ・テイク 3 をPBX内線／専用線等に接続した場合に、発信側が電話の呼出し中に切ってもテイク 3 に接続した電話のベルが所定の回数鳴動する可能性がありますのでご注意ください。

### 2. 電話機に関する注意事項

- ・電話機／留守番電話等、電話着信時に応答する端末をTEL端子に接続して下さい。
- ・ホームテレホン／ビジネスホン／交換機等を接続する場合、TEL端子から各装置の回線接続端子へ接続して下さい。

### 3. FAXに関する注意事項

- ・テイク 3 からの配線はFAX本体の回線接続端子（L1L2、LINE等）に接続して下さい。
- ・FAXは自動受信に設定して下さい。また、FAXの自動切替は解除して下さい。相手機種により受信ができなくなる可能性があります。
- ・FAX本体に発信機能が内蔵されていない時は、必ず発信用の電話機をFAX本体に接続して下さい。
- ・本体に電話機が内蔵されているFAXであっても、電話着信時にこの電話機で応答することはできません。電話着信時の応答は、TEL端子に接続された電話機から行って下さい。

### 4. モデムに関する注意事項

- ・テイク 3 からの配線はモデム本体の「LINE端子」に接続して下さい。
- ・通常は自動着信の設定で使用して下さい。

## 1. 8 停電の場合

- ・TEL端子のみ使用可能です。必ず、電話機はTEL端子へ接続して下さい。



# 1. 各モードの設定

## 2. 1

### 自動ベルモード (初期状態)

電話とFAXを自動的に切替えます。着信するとテイク3が自動応答します。  
FAX信号を検知するとFAXへ切替えます。FAX信号がない場合、電話機を呼出します。

#### 自動ベルモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	リモート/ベルモード設定スイッチ	CNG検知スイッチ (ディップスイッチ)	ランプ状態
設定	自動ベル	上	⑦点灯(赤)

※上図「ランプ状態」については、7ページの [1. 背面図](#) を参照して下さい。

※留守などで電話にでることができなかった場合でも電話を掛けてこられた方は課金されます。

※発信側・受信側の双方にテイク3が設置してある時、[ディップスイッチ7を有り\(上\)](#) に設定する事により電話番号をダイヤルするだけでモデムの自動切替も行えます。

※電話機の呼出しベル回数は約30回(約90秒)以上です。約30回以内に応答がない場合、切断します。仮着信し、約8秒経過後に電話呼出しを開始します。FAX/モデムからの着信の時、検知した時点で呼出しを開始します。掛けてこられた方には、応答までリングバックトーン(疑似呼出し音)を送出します。

## 2. 2

### リモートモード

着信すると自動切替を行わずに、電話機を呼出します。応答後に電話機からのダイヤル操作で、FAX、モデム端子へ切替えます。(応答するまで課金はされません)

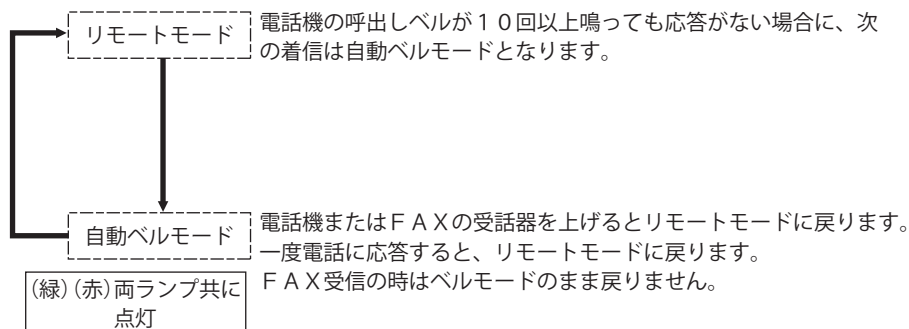
リモートモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	リモート/ベルモード設定スイッチ	CNG検知スイッチ (ディップスイッチ)	ランプ状態
設定	リモート	上	⑥点灯(緑)

※上図「ランプ状態」については、7ページの **1. 背面図** を参照して下さい。

※NTTの転送サービスを利用する時、このモードでご使用下さい。

※電話機の呼出しベルが10回以上鳴っても応答がなく、掛けてこられた方が切った場合に次の着信は自動ベルモードとなります。



### ご注意

上記の動作は、ディップスイッチ8を有り(下)にした時のみ働きます。

ナンバーディスプレイ有り(ディップスイッチ2が有り(下))の時は、この機能は使えません。

## 2. 3

### FAXモード

電話・FAX・モデム等全ての着信に対して、直接、FAXを呼出します。

#### FAXモードで使用するためのスイッチ設定

スイッチ	リモート/自動ベルモード設定スイッチ	FAXモード設定スイッチ (ディップスイッチ)	ランプ状態
設定	リモート	下	⑥点灯(緑)

※上図「ランプ状態」については、7ページの **1. 背面図** を参照して下さい。

※FAXモードはリモートモードでしか設定できません。自動ベルモードで設定すると、誤作動が発生する場合があります。

※ナンバーディスプレイ有り (ディップスイッチ2が有り(下)) の時は、この機能は使えません。

## 3. 操作方法

### 3. 1 基本操作

#### 1 電話、FAX、モデムから発信したい時

- ・通常通りの発信操作をして下さい。

※他の端末が回線使用中の時、受話器から話し中の音がします。

#### 2 掛かってきた電話をうける時

- ・電話機のベルが鳴ります。受話器を上げてお話し下さい。

#### 3 FAXが送られてきた時

- ・自動ベルモードであれば、テイク3がFAX信号を検知すると自動的にFAXへ切替えます。FAX信号がない、又は、リモートモードの時は次項を参照してください。  
(※FAX信号=CNG信号)

#### 4 電話をうけFAXから着信の時 通話中にFAXへ切替えたい時

- ・電話機より「6」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。  
すぐ（5秒以内）に受話器をお戻し下さい。
- ・電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中のFAX切替操作はできなくなります。（リモート／自動ベル両モードともに）

## 5 電話をうけモデムから着信の時 通話中にモデムへ切替えたい時

- 電話機より「8」をダイヤルすると「ピッピッピ」と転送合図音が受話器より聞こえます。  
すぐ（5秒以内）に受話器をお戻し下さい。
- 電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中のモデム切替操作はできなくなります。

## 3. 2 特殊操作

### 1 受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます。 (オンフック転送)

- ・テイク3のディップスイッチ9を有り(下)に設定して、電話機の受話器を上げた場合に、相手がFAXであれば受話器を戻すだけでFAXへ切替えることができます。
- ・リモートモードでナンバーディスプレイが有り(下)のとき、この機能は使えません。電話機より「6」をダイヤルして切替えて下さい。

※ディップスイッチの位置は、8ページの3. 右側面図を参照して下さい。

※接続回線(PBX内線、専用線等)によって、この機能が正常に動作しない場合があります。

### 2 電話が掛かってきて留守などで出られない時

- ・自動ベルモードでは、電話の呼出しベルを約30回鳴らします。応答がない時は回線を切断します。
- ・リモートモードでは、掛けられた方が呼出しを止める(電話を切る)まで電話機を呼出します。

※リモートモードの時、テイク3のディップスイッチ8を有り(下)に設定しておく事により、10回以上呼出して応答がなかった時、次の着信は自動ベルモード動作します。

※ディップスイッチの位置は、8ページの3. 右側面図を参照して下さい。

### 3 発信側より直接テイク3のモデム端子を呼出すことができます

- ・発信側、受信側の双方にテイク3が設置してある場合、**ディップスイッチ7を有り(上)**に設定しておく事により、発信側モデムから電話番号をダイヤルするだけで受信側モデムを直接呼出す事ができます。
- ・発信側にテイク3が設置されていない場合、発信側モデムから電話番号をダイヤルし、テイク3が応答した後に「8」のトーン信号(100msec)を送出してください。
- ※**ディップスイッチ7を有り(上)**に設定すると、テイク3が着信した時点で送信先に「ピッ」と音を返します。
- ※テイク3は必ず自動ベルモードに設定して下さい。
- ※トーン信号はテイク3が応答した後、8秒以内に送出して下さい。テイク3のリングバックトーンと重なると検知できない場合があるため、トーン信号は連続(2~3回)送出して下さい。

### 3.3 操作での注意

- ・プッシュ信号を送出する電話機から「6」をダイヤルしても転送合図音が聞こえない場合は「66」と「6」を2回続けてダイヤルして下さい。
- ・切替操作は電話機の呼出しベルが鳴り始めてから約1分経過すると通話中でのFAX又はモデムへの切替操作はできなくなります。
- ・FAX、モデムへの切替えは電話着信時に可能です。電話発信時には切替えできません。

## 4. メインディップスイッチ機能一覧

スイッチNo.	はたらき	設定		備考
1	モード切替	<input checked="" type="checkbox"/> 上	自動ベル	自動ベルモード、リモートモードの切替スイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	リモート	
2	ナンバーディスプレイ	<input checked="" type="checkbox"/> 上	無し	ナンバーディスプレイサービス回線と通常回線との切替スイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	有り	
3	CNG検知	<input checked="" type="checkbox"/> 上	有り	CNG (NCNG) の検知をする、しないの切替スイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	無し	
4	メンテナンス用	<input checked="" type="checkbox"/> 上		常に上にしておいてください。
		<input type="checkbox"/> 下		
5	メンテナンス用	<input checked="" type="checkbox"/> 上		常に上にしておいてください。
		<input type="checkbox"/> 下		
6	FAXモード	<input checked="" type="checkbox"/> 上	無し	FAXモードをオンにするかオフにするかのスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	有り	
7	トーン送付	<input type="checkbox"/> 上	有り	対向サービスの為のトーンを送付するか、しないかのスイッチです。
		<input checked="" type="checkbox"/> 下	無し	
8	自動モード切替	<input checked="" type="checkbox"/> 上	無し	リモートモード設定時、10回コールでなかった場合、自動ベルモードに移行するかしないかを設定するスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	有り	
9	オンフック転送	<input checked="" type="checkbox"/> 上	無し	オンフック転送をするか、しないかの設定をするスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	有り	
10	瞬断検知	<input checked="" type="checkbox"/> 上	有り	相手側が通話を切断した場合、瞬断信号を検知するか、しないかを設定するスイッチです。
		<input type="checkbox"/> 下	無し	

**白抜きは初期設定**



## 5. 故障と考えられる時

一度、各項目をご確認して下さい。

症 状	確 認 及 び 対 処
ランプがいずれも点灯して いない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ACアダプタが抜けていませんか (→P10)</li> <li>・アダプタがコンセントから外れていませんか</li> </ul>
電話、FAX、モデムから 発信できない  発信しようとする時話し中 の音がして発信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回線はテイク3のL<sub>1</sub>L<sub>2</sub>に接続されていますか (→P9)</li> <li>・各端末のダイヤル、プッシュの設定は合っていますか</li> <li>・他の端末が回線を使用していませんか (→P15)</li> <li>・極性は合っていますか (→P11)</li> <li>・極性反転を検知していませんか</li> </ul>
電話が受けられない 電話のベルが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話機はテイク3のTEL端子に接続されていますか (→P9)</li> <li>・電話機のベルが止めてありませんか</li> </ul>
FAXが受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FAXは自動受信になっていますか</li> <li>・FAXの記録紙はありますか</li> <li>・FAXの電源は入っていますか</li> <li>・FAXはテイク3のFAX端子に接続されていますか (→P10)</li> <li>・送信側FAXからFAX信号は送出されていますか (→P15)</li> <li>・送信側FAXがFネットを利用していませんか</li> </ul>
モデムが受信しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデムは自動受信になっていますか (→P10)</li> <li>・モデムの電源は入っていますか (→P12)</li> <li>・モデムはテイク3のモデム端子に接続されていますか</li> <li>・テイク3は自動ベルモードになっていますか</li> </ul>
電話機から「6」、「8」を ダイヤルしてもFAX、モ デムに切替わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「6」、「8」をダイヤル後、すぐに受話器を戻していますか (→P15)</li> <li>・FAX、モデムはテイク3に正しく接続されていますか (→P10)</li> <li>・FAX、モデムの電源は入っていますか</li> <li>・FAX、モデムは自動受信になっていますか</li> </ul>
発信側が電話を呼出中に課 金されてしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動ベルモードになっていませんか (→P14)</li> <li>(→P15)</li> </ul>
NTTの転送サービスが 利用できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テイク3はリモートモードになっていますか (→P13)</li> <li>・転送操作は間違いないですか</li> </ul>
発信側が電話呼出し中に 切っても呼出しベルが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PBX内線／専用線に接続していませんか (→P12)</li> </ul>

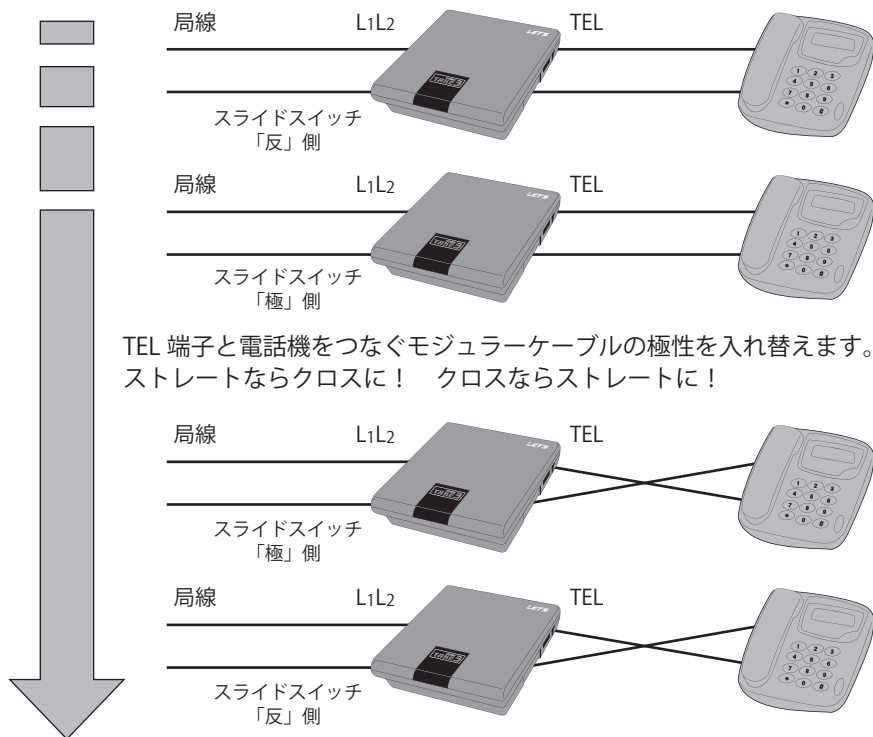
# 6. 設置手順と注意事項

## 設置手順 1 停電時の極性合わせ

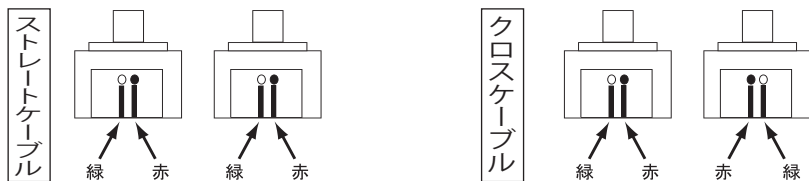
テイク 3 の電源は OFF の状態です。

- 準備 1 局線をテイク 3 の L1L2 に接続します。
- 準備 2 電話をテイク 3 の TEL 端子に接続します。
- 準備 3 電話機で発信と着信ができることを確認します。

電話機から発信、着信が正しくできない場合は、以下の手順で極性を合わせます。  
(4通り)



ストレートケーブル、クロスケーブルが各1本ずつ添付されています。



※ 1本のモジュラーケーブルの両端を並べて見た図

## 設置手順2 テイク3の電源をONにします

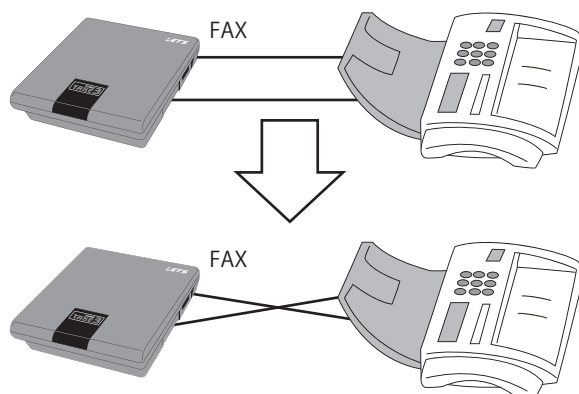
<確認> 電話機から発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、TEL 端子と電話機のモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。

## 設置手順3 ファクシミリを接続します

<確認> ファクシミリで発信、着信が正しくできましたか？

うまくいかない場合は、FAX 端子とファクシミリのモジュラーコードの極性を入れ替えて、再度、電話機から発信、着信ができることを確認してください。



### 極性違い(+、-)によるファクシミリの動作

- ファクシミリから発信できない。
- 自動発信ができない。(オンフックボタン発信はOKなど)
- ダイヤルを止めてしまう。

### その他の注意

- ◇ ファクシミリの着信ベル回数は2回以上に設定してください。
- ◇ 極性合わせ工事を実施後は必ず最後に電話機とファクシミリによる発信、着信が正常であることを確認してください。

## 7. 仕様一覧

収 容 回 線 数	1 回線
接 続 端 末 数	3 端末
回 線 接 続 方 式	通信コネクタ
配 線 方 法	2 線スター
電 源	D C 15V、400mA (センターマイナス)
消 費 電 力	4V A
温 度	5°C ~ 45°C (結露無きこと)
湿 度	20% ~ 80% R H
本 体 寸 法	220×170×40mm (奥行 × 幅 × 高さ)
本 体 重 量	約 440g
適 合 認 定 番 号	A 0 1 - 0 1 3 5 J P

# MEMO

# MEMO

# 製品保証書

型名	製造番号	平成 年 月 日 ~ 年 月 日
保証期間	TEL	TEL
ご住所	郵便番号	TEL
ご会社名	様	TEL
ご担当者名		
代理店住所氏名		TEL
営業所住所担当者		TEL

この製品は下記の通り保証いたします。

- この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。常な使用状態において万一故障した場合には、いたしません。
- 代理店もしくは当社営業所・サービスセンター書をご提示の上お申しつけください。
- 裏面に記載する項目に該当する場合があります。
- 行いません。大切に保管ください。
- 本国内においてのみ有効です。
- 保証書に印鑑のなきものは無効です。

(This warranty is valid only in JAPAN)



今、求められるニーズを  
コーポレーション

# 保証書

- 次の場合には有償修理となります。
- (イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造、落下による故障および
  - (ロ) お買上げ後の搬送、移動、故障および
  - (ハ) 付属機器、回線、地震、雷その他の
  - (ニ) 火災、風水害、地震、雷その他の
  - (ホ) 特殊環境（た）による故障および
  - (ヘ) 故障および
  - (ト) 保証書の紛失

指定外の使用電源  
による

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

本 社 : 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目18-20  
坂長ビル4F  
TEL (052) 201-6230  
FAX (052) 201-5050

東京営業所 : 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目19-3  
銀座竹葉亭ビル6F  
TEL (03) 3546-0889  
FAX (03) 3546-0941

インターネットホームページ <http://www.lets-co.co.jp/>  
サポート Eメール [support@lets-co.co.jp](mailto:support@lets-co.co.jp)